



国際交流バスツアー 2021.11.21 四国水族館

地域に広げる多文化共生 吉野川市国際交流協会

Multicultural Coexistence Spreading in the Region



吉野川市国際交流協会は、今年設立30周年を迎えます。1992年にその前身である鴨島町国際交流協会が設立され、2004年10月の4ヶ町村合併により吉野川市国際交流協会に移行し現在にいたっています。また、協会設立年に開設された日本語教室も30周年です。コロナ禍ではありますが、30周年の記念事業を企画したいと思っています。

この1年間もコロナの影響がありましたが、会員の皆様のご協力とご支援を得てなんとか活動を継続することができました。5月の総会は文書審議により開催しました。7月には日本語スピーチコンテストを初めて開催し日本語教室の受講生4名が発表しました。そのうちの2名が徳島県日本語弁論大会に出場。8月の阿波踊りは残念ながら中止。10月～12月にはコロナ感染者数が少なくなり、浴衣・着物着付け体験会、国際交流バスツアー、新ALTの歓迎会、日本語教室のクリスマス会は開催できました。日本語教室は、会場の休館期間は休校やZoomなどで対応し、それ以外の期間は対面での授業を行いました。コロナ以前よりも出席者が少ない状況が続いています。

さて、日本全国では人口減少が大きな課題になっています。地域社会では少子高齢化と相まって、地方創生、地域の活性化

の必要性が叫ばれていますが、地方の衰退は避けられない状況です。吉野川市の人口は昨年4万人を割り込み今年1月時点で39,600人。市の人口ビジョンによれば2040年には28,000人まで減少し、少子高齢化が進むと予想されています。その対策の一つとして地域に住む外国人の活躍に期待する、または外国人を受け入れる施策を積極的に進めている自治体もあります。外国人雇用の面では、新たな在留資格である特定技能制度も進展しつつあります。また日本語教育推進法の制定により、地域で日本語教室の普及が図られています。このような状況下で、「地域に広げる多文化共生」が注目されるのではないかと思います。多文化共生のための施策として、①コミュニケーション支援 ②生活支援 ③意識啓発と社会参画支援 ④地域活性化の推進やグローバル化への対応、を行うとされています。我々協会の会員や市民レベルでは、地域に住む外国人と交流することで外国の文化などを知り、お互いにちがいを認め合い、対等な関係で共に生活することを楽しむのが大切ではないかと思います。今後も、行政と国際交流協会などの団体、外国人を雇用する企業および市民と役割分担し連携しながら交流活動を進めたいと思います。

吉野川市の外国人登録数(2022年1月31日現在) 中国122名、ベトナム104名、インドネシア45名、フィリピン40名、パキスタン11名、韓国10名、ミャンマー9名、米国7名、英国4名、ネパール4名、カンボジア3名、カナダ3名、タイ2名、インド2名、モンゴル2名、ハンガリー2名、台湾、ブラジル、ドイツ、ルーマニア、ウクライナ各1名 合計375名

《特集》 日本語教室の30年の歩み

《 Special Topic 》 Footstep of 30 years of Japanese Language Class

会長 萩森 健治
Hagimori Kenji

吉野川市国際交流協会の日本語教室は1992年10月に開講して以来今年で30周年を迎え、この間に当教室で学んだ外国人はベトナム、中国など十数か国1,500名を超えています。当教室は地域に住む外国人が日本語を学ぶ場であるとともに心の拠り所にもなっています。本稿では当教室のこれまでの歩みと概要を紹介します。

30年の歩み：1992年の設立当初はおもに外国語指導助手（ALT）や欧米系の外国人が受講していました。1996年ころから中国からの技能実習生20～40名が受講するようになりました。2010年ころからはベトナムやインドネシアなどからの技能実習生の受講者が増え、ここ数年は年間の登録者数が60～80名で推移しています。

2015年3月には、1992年の開講以来20年間の活動をまとめた「日本語教室の歩み」を発行し、関係先に配布しました。

また、受講者と地域住民との交流を図るためさまざまなイベントを開催してきました。特に技能実習生は、3年または5年間日本に滞在したのちに帰国します。そこで、日本にいる間にいろいろな楽しい体験をしてもらうため、お花見、バスツアー、阿波踊り、クリスマスなどのイベントを開催。2017年からはもちつき大会、書道ワークショップ、浴衣・着物着付け体験などや徳島県日本語弁論大会への参加支援なども行いました。

近年は受講者が増え、山川町や隣接する阿波市など遠方から来校する受講者にも対応するため、2020年6月に新規に山川教室を開校しました。

教室の概要：現在は、毎週日曜日に鴨島教室（午後）山川教室（午前）で年に40回以上開催しています。教室は、国籍、地域、性別、年齢にかかわらず日本語を勉強したい人は誰でも参加することができます。ベトナム、インドネシア、中国、ミャンマー、モンゴル、フィリピン、タイなどから20～40歳代の未婚、既婚の男女が来校し、子ども連れで来校する母親や、娘さんの

送迎で来校する76歳の女性もいます。遠方の鳴門市、板野町などからも参加しています。また、受講者のほとんどは技能実習生ですが、日本人の配偶者やALTもいます。

教室では、30歳～70歳代のボランティア講師が、グループ別に、会話、文型、日本語能力試験対策などの指導を実施しています。日本語スピーチコンテストの開催や徳島県日本語弁論大会への出場を支援することにより、学習意欲のモチベーションを高める取り組みも進めています。

外部とのかかわり：2018年10月には「輝け！徳島わくわくトーク」が開催され、飯泉知事と日本語講師、受講者との意見交換が行われました。徳島県国際交流協会主催の2019年度、および2021年度の日本語支援ボランティア養成講座においては、当教室で日本語指導の現地研修が行われました。また、県内の他地域の日本語教室の講師の方々も指導の参考とするため見学に来訪されています。

鳴門教育大学や徳島大学の日本語教育に関わる研究部署では、当教室の受講者を対象にして日本語教育に関する調査・研究（フィールドワーク）が実施されました。

以上のように、当教室は多くの受講者が楽しく日本語を学び、多彩で活発な活動を行っている徳島県内では評価されています。

今後の発展：日本語教室では、外国人に対して「言葉の壁」を解消することを目的として日本語指導を行っています。また、さらに、当協会の活動を通して、地域住民との「心の壁」を少しでもなくし、互いに住みやすい多文化共生社会をつくる一助になればと思っています。

また、2019年6月の「日本語教育の推進に関する法律」の公布に伴い、地域の日本語教室に対する重要性和継続の必要性はますます高まると考えられ、教室メンバー一同、さらに楽しみながら頑張りたいと思います。



〈日本語教室〉 Japanese classes

日本語教室の活動紹介

Introduction of Japanese language classes

講師 萩森 健治
Hagimori Kenji

2020年度に山川教室を新規に開校し、2021年は日曜日の午前中は山川教室、午後は鴨島教室で授業を行いました。受講生は昨年とほぼ同じで、国籍はベトナム、中国、ミャンマー、インドネシア、タイ、モンゴル、フィリピンの7か国でした。講師は、井口、上田、大塚、平田、細谷、真鍋、三原、横山、萩森の9名に一井、福德、高田の3名が新規加入し12名です。今年度もコロナの影響で不自由な環境下ながらZoom教室を併用しながら授業を行いました。

日本語教室でのこの1年間

講師 大塚 貴司

コロナウイルスが蔓延するなか、日本語スピーチコンテスト、浴衣・着物着付け体験、バスツアー、クリスマス会が開催できたことはとても良かったと思います。また、日本語能力試験に合格したと何人かの受講生がFacebookで報告しているのを見て、日本語教室に携わる者として自分のことのようにとてもうれしく思います。コロナが早く収束して、たくさんの受講生に会えるのを楽しみにしています。



徳島県日本語弁論大会 (2021.7.18)



クリスマス会 (2021.12.26)

吉野川市に2番目の日本語教室が 山川町に誕生

講師 細谷 裕重

徳島県で初めて外国人向けの日本語教室が開設されたのは吉野川市です。鴨島日本語教室は今年で30周年になります。そして市内2番目の日本語教室が山川町でスタートしました。

山川日本語教室は毎週日曜日の午前10時から11時半まで山川公民館で開催しています。参加する外国人は近隣の技能実習生が多く、国籍はベトナム・中国・インドネシア・フィリピン・ミャンマーと多彩です。共通言語は日本語です。教室では日本語の勉強をするほか、日本文化を体験する活動もしています。今年1月の授業では折り紙・けん玉・福笑い・羽子板で遊びました。

日本語講師は全員ボランティアで現在6名です。日本語を教えるのに特別なスキルは要りません。外国人とふれあうことが楽しいと思える方なら誰でもOKです。

授業の中で外国人から「私たちの知らないお国事情」を教えられることが多いです。その意味で毎週が小さな国際交流です。

外国人との交流に興味のある方は、日本語教室の見学に来てください。大歓迎致します。



日本語教室 講師コメント

講師 平田 仁子

日本語教室では、外国人に日本語を教えるというより一緒に学習しているという感じです。当たり前に使っている日本語ですが毎回難しさを痛感しています。

また、受講生の皆さんの母国について教えてもらったり日本の行事を楽しんだり、私たち講師もとても楽しんでいます。

地域国際交流 Regional International Exchange Activities

国際理解講座 “香川に住むアメリカ人”

International Understanding Course - An American Living in Kagawa

横山 美津子

Yokoyama Mitsuko

12月26日の午後1時から吉野川市文化研修センターで、香川県在住、アメリカ、南カロライナ州出身のHansさんを迎え国際理解講座を開催しました。“An American in Kagawa”のタイトルで15名の定員一杯の参加者を迎え、盛況に終わることができました。

Hansさんは、大学や大学院で宗教を専攻し、来日前から空海や四国88ヶ所について学んでいました。現在、香川県の旅行会社で働き、主に欧米外国人向けにお遍路ツアーなどの紹介をしています。

日本の会社で働く良い点として、アメリカと違って安心して働くことができること、しかし、マイナス面はだらだらと続く会議でなかなか物事が決まらないことや、ハンコの押し方などHansさんはあまり大事だと思わない細かい点で訂正されることなどを話していました。

最後に四国の魅力について、徳島はあまり手を加えていない素朴な原風景が美しい。高知は、自然も美し

いが人がとにかく親切でフレンドリー。愛媛は四国の小京都といった感じ。香川は、瀬戸内海の芸術や風景、うどんなど。たくさんのきれいな写真を用意してくれていたの皆さんよく理解ができ楽しめたと思います。



二年ぶりの新 ALT 歓迎会

Welcoming Party for new ALTs for the first time in two years

羽山 知恵子

Hayama Chieko

コロナ禍の少し落ち着いた状況により、12月19日18時より約2時間、新ALT歓迎会が川島町の「やすらぎ亭」で開催されました。マスク着用、3密を避け、テーブルにパーティションが設置され、18名の参加でした。

今回の新規のALT！最近赴任されたJennaさんと約一年前に赴任されたDexterさんを心より歓迎し、お仲間のALT Malgorzataさん、Meighanさん、Chelseaさんのご参加をみんなで喜びました。

プログラムの内容は交流部リーダーの横山さんの総合司会が素敵に行き届き、会長の萩森さんのご挨拶に続き、パワーポイントでのYIAの活動紹介が生き生きと伝わりました。

次にJennaさんとDexterさんの自己紹介や質疑応答がありました。Jennaさんはサンフランシスコ出身で趣味は読書、旅行、ハイキング等で笑顔がとても素敵です！Dexterさんはハワイ出身で歌が上手で美声です！日本の色々なジャンルの音楽に興味があるそうです。若いお二人のエネルギーに大きな期待が寄せられました。引き続き歓談しながらミニ懐石料理を各テーブルでALTの方々に説明しながら美味しく楽しみました。

アトラクションとして津軽三味線の演奏と民謡にみんな堪能しました。若い男性の「津軽じょんがら節」の三味線の響きに魅せられ、女性の凛とした「祖谷の粉引き節」「祖谷甚句」の民謡に心あつくなり、徳島・阿波人の原点でしょうか！

ALTの5名の方々と参加者とのあたたかいよき交流と語らいが盛り上がり、お話尽きない事でした。ALTの皆さんは年末年始の休暇に旅行等計画しているそうです。吉野川市での日々が豊かでかけがえのない時でありますようにと願ってお開きとなりました。



国際交流バスツアー

Bus Tour of International Exchange

横山 美津子

Yokoyama Mitsuko

四国水族館・金刀比羅宮へのバス旅行

11月21日の日曜日に2台のバスに分かれて48名が、国際交流のバス旅行を楽しみました。2号車は、ベトナム、インドネシア、中国、ミャンマー、ニュージーランド、アメリカ、日本と国際色豊かなメンバーでした。バスの中では、自己紹介をした後、和やかな雰囲気ですぐに歓談、そして母語や日本語で歌を歌って大いに盛り上がりました。

水族館は、小規模で魚はどちらかと言えば地味でしたが、建物が新しく斬新な設計で中も外もとても気持ちよく感動しました。ペンギンやイルカのショーはずっと見ていたいほどかわいかったです。そして、瀬戸大橋の公園で持参した弁当を広げて昼食。金刀比羅宮は、途中まで上る人、最後まで上りきる人とそれぞれが思い思いに楽しんでいました。

自己紹介の中で、日本人は良く音楽や、芸術、庭いじり、スポーツなど当然のように話しますが、技能実習生は、働き詰めで休日は疲れて体を休めるだけで日本人が楽しむような事は出来ないのだと気づきました。“彼らが少しでも楽しめる環境を提供するにはどうしたらいいのか”などはとてつもなく大きい問題ですが、小さいことから、やれる範囲で力を注ぎたいと思いました。来年はもっとたくさんの人に参加していただきたいと思います。



楽しかったバスツアー

グエン・ティ・タム

日本語教室の受講生と先生方が一緒にバスで四国水族館と金刀比羅宮に行きました。その日の朝8時10分に土成の辺りに住んでいる人がJA土成に集まってバスに乗りました。次は8時35分に市役所で、9時に山川公民館でみんなを迎えた。2台のバスに分かれて行きました。1号車は、車酔いの人がいてみんな静か。2号車はカラオケで盛り上がったそうです。1時間半後に四国水族館に着いて、みんなドキドキの感じして入りました。ワーオそう思ったんだ。海の魚の実物が見られて写真撮影。それぞれ形も違うきれいな魚もいっぱいいる。先生に名前を聞いたら、アジ、ブリ、カンパチ、クロダイ。日曜日なので家族づれの観光客でいっぱい。みんなはスマホで魚と写真を撮って。水族館を出たところで記念撮影。それから、近くの公園でグループに分かれて、昼ご飯を食べていました。昼食後に金刀比羅宮へ行き、この道歩いている人が多い。



四国水族館で友だちと一緒に(左端がタムさん)

本殿に向かって石段を登りました。休まず登る人もいて、途中で写真を撮りながらゆっくり上る人もいます。本殿まで行った人は15人くらいでした。残りの

人は途中まで。夕暮れになり少し寒くなってきた。18時～18時半に無事に土成、鴨島に帰りました。たくさん撮った写真はFacebookにアップしました。みんなと参加して楽しかった。

(タムさんは、ベトナム出身。阿波市内の介護施設で働いています：萩森)



四国水族館



瀬戸大橋記念公園

日本語教室 スピーチコンテスト

Japanese Class Speech Contest

萩森 健治
Hagimori Kenji

日本語教室受講生による第1回「日本語スピーチコンテスト」を文化研修センターで7月11日に開催。

市生涯学習課、YIA会員、受講生、発表者の関係者など51名が参加しました。

審査員長は、日本語教室で受講生の宗教感を調査研究中の徳島大学国際センターの清藤隆春先生にお願いしました。審査員は、日本語講師の高田さん、真鍋さん、細谷さん、理事の羽山さんが担当。発表者は4名で各自6分間のスピーチを行いました。

タムさんは、二人の子どもをベトナムに残して来日し、仕事の苦労や日本語教室で頑張ったことを涙ながらに発表。チャーさんは、来日後の寂しさに耐え、日本語教室で居場所と家族を見つけたことをジェスチャーと笑顔いっぱい発表。インタんさんは、コロナで家族や友人が新しい仕事を始めたことなどホットな話題を提案。ナナさんは、日本に来たきっかけや、日本で楽しみ、帰国後にレストランを開店する夢を語りました。また、インタんさん、ナナさんは、インドネシアの生活や宗教行事などを表した楽しそうなダンスを披露。審査後の講評で、清藤審査員長から「タムさんは、感情を言葉に載せるのがとても上手。チャーさんは、笑顔とジャスチャーが素晴らしいし、さすが努力家。インタんさんは、発音、イントネーションが非常にナチュラルで、工夫次第でまだ伸びる。ナナさんの“経験したことを夢につなげる”こちらが勉強になりました」との講評をいただきました。表彰式では、全員に優秀賞の賞状とささやかな賞金が授与されました。



浴衣・着物着付け体験会

Experience Meeting to wear Yukata and Kimono

10月10日(日)に吉野川市文化研修センター多目的ホールにて、外国人向けに「浴衣・着物着付け体験会」を開催しました。浴衣・着物を着た女性は17名。出身国は、ベトナム、インドネシア、タイ、ミャンマー、モンゴル、中国の6か国。着付け指導に、小川和美さん、渡部真弓さんと、YIAの安部正美さん、乾喜美子さんが応援参加してくださいました。小川さんと渡部さんからは、あでやかな打掛14着、羽織袴3着、髪3着を用意していただき、YIAは浴衣19着を準備しました。



どの着物を着るかは、抽選で公平に選びました。打掛は、色や模様があでやかでとてもきれいでした。全員浴衣や着物を着ることができ、皆さんは大喜びで、スマホでお互いに何枚も写真を撮っていました。※写真撮影を担当された日本語教室講師の高田さんからメッセージを頂きました。

浴衣着物着付け体験会に参加して

高田栄治

吉野川市国際交流協会の主催する「日本語教室浴衣着付け体験」を見学させて頂いた。5年以上も触ってなかったカメラを持ち出してみた。打掛を上に着るので浴衣の裾は垂らし気味に着付け。なるほどと思ったのが打ち掛けを自分の感性で着こなすセンス。多分今の日本の若い子も負けてないと思うが、なかなかのなんだ。舞踊の披露もあり楽しい催しだった。



ALTの英会話教室

English Conversation Class by ALT

三原 敦子

Mihara Atsuko

鴨島公民館で月に一度行われるALT英会話教室に参加しています。メイガンさん（ペンシルベニア州出身）デクスターさん（ハワイ州出身）チェルシーさん（ニュージャージー州出身）マゴージャさん（サンフランシスコ出身）の4人のALTが個性豊かに教えてくれます。若い学生に接するように手際よく教えてくれる



チェルシーさん。ハロウィーン前には、家庭でよくするという推理ゲームで盛り上がったデクスターさん。

ユーモアたっぷりに我々をリラックスさせてくれるマゴージャさん。クリスマスソングやお菓子を使っているゲームで童心に帰らせてくれたメイガンさん。

毎回楽しくてあつという間に時間が過ぎていきます。英会話も残り少なくなってきましたが、最後まで参加していこうと思います。

忌部英会話教室

Inbe English Conversation Class

長井 和秀

Nagai Kazuhide

生涯学習課主催の英会話教室が令和3年3月で終了したので、英会話教室にて引き続き勉強したいとの有志が集まり、山瀬公民館にて忌部英会話教室を4月より開催しています。コロナ禍の緊急事態宣言により、休講を余儀なくされた日々もありますが、現在月2回で開講しています。先生は、USAニュージャージー

州出身のALTのチェルシー先生です。授業は英会話を正しく行うための文法、慣用表現、リスニングなど、良く考えられた内容の授業となっております。興味のある方は詳細について添付のURLからホームページにて確認をお願い致します。



マーフィーさんの英会話教室

English Conversation Class by Murphy

浅野 充子

Asano Mitsuko

教室では、毎回異なったテーマで皆が自分の経験や思いを語ります。もちろん基本的に英語ですが、単語や文法に行き詰まった時には、日本語が流暢な先生が助言をくれるので会話を続けることに何ら支障はありません。また同時に会話の内容について関連事項をパソコンで調べプロジェクトに映し出してくれるので、英語での発表がスムーズに進むし周囲も理解がしやすいです。先日のテーマ《食べ物》では、「スペイ

ンで食べたパエリアは塩辛くて口に合わなかった。」と発表すれば「徳島の〇店のスペイン料理が美味しいよ。」とすぐに反応が出るなど、とても楽しい雰囲気の中で英語の勉強が進んでいきます。また、時折出る先生のスピード感ある英語にも付いて行こうとする前向きな気持ちにもなってきます。



ALTの紹介

Introduction of ALTs (Assistant Language Teacher)

瀬尾 規子 Seo Noriko

①勤務校 ②出身 ③専攻 ④趣味

Meighan Hannon (メイガンさん)

- ①鴨島東中学校、森山小学校、牛島小学校
- ②アメリカのペンシルベニア州出身
- ③カウンセリング、ヒューマンサービス、哲学専攻
- ④編み物、お菓子作り



Chelsea Renee Quezergue (チェルシーさん)

- ①山川中学校、山瀬小学校
- ②アメリカのニュージャージー州出身
- ③言語学、日本語のジョイント専攻 第二専攻はスペイン語
- ④歌うこと、料理、読書



Malgorzata Sikorski (マゴージャさん)

- ①鴨島小学校、西麻植小学校、飯尾敷地小学校
- ②ポーランド系アメリカ人でサンフランシスコ出身
- ③生物学専攻 第二専攻は日本語
- ④スキー、バレーボール、水泳



Nagaji Dexter (デクスさん)

- ①鴨島第一中学校、知恵島小学校
- ②アメリカのハワイ州
- ③ハワイ大学 日本語専攻
- ④歌うことや音楽を聴くこと。ゲームや映画を見ることも好きです。



Jenna Roth (ジェンナさん)

- ①川島中学校、川島小学校、学島小学校
- ②アメリカのサンフランシスコ
- ③言語学
- ④読書、クッキング、ハイキング、旅行



Ashley Noelck (アシュリーさん)

- ①阿波高校、阿波西高校
- ②カナダのエドモントン
- ③社会学
- ④ハイキング、釣り、料理



事 務 局 だ よ り

2021年度吉野川市国際交流協会役員

会 長 萩森健治
 副会長 新居 博、横山美津子
 瀬尾規子
 監 事 乾喜美子、荃田智恵
 事務局 吉野川市教育委員会生涯学習課
 会員数 73名・団体（2022年1月現在）



専門部の活動

◎支援部（担当：新居博副会長）

- (1) 日本語教室の開催
- (2) 日本語サロンの開催
- (3) 英会話教室への参加
- (4) 学校での日本語学習支援
- (5) 市内滞在あるいは訪問外国人への通訳支援
- (6) 各種講習会への参加



◎交流部（担当：横山美津子副会長）

- (1) 国際理解講座の開催
- (2) 地域国際交流の支援
- (3) 在住外国人との交流事業
- (4) ホームステイ・ホームビジットの受け入れ
- (5) 阿波踊りへの参加
- (6) 国際交流バスツアー
- (7) 日本文化を紹介する講座



◎広報部（担当：瀬尾規子副会長）

- (1) 「国際交流よしのがわ」第18号の発行
- (2) YIA会員だよりの発行
- (3) YIAホームページ



◎会計（担当：三原敦子理事）

- (1) 会計の管理
- (2) 会計（会費・補助金）



ホームステイ・ホームビジットボランティア募集

ホームステイの滞在期間は、1泊から1週間以内の宿泊を想定しています。ホームビジットは宿泊を伴わない訪問です。外国人との交流に興味のある方、登録申込をお願い致します。

会 員 募 集

吉野川市国際交流協会では、新しく会員になってくださる方々をお待ちしています。外国語が話せなくても興味のある方はどなたでも随時入会できます。事務局にお気軽にお尋ねください。

年会費：個人 2,000円、団体 5,000円（入会随時）

事務局：吉野川市教育委員会生涯学習課

TEL (0883) 22-2271、FAX (0883) 22-2270

e-mail: s-gakushuu@yoshinogawa.i-tokushima.jp

2021年度の主な活動

[2021年]

- 3月 日本語教室花見（向麻山）
- 4月 総会準備（資料作成、会計監査）総会資料発送
コロナ禍のため日本語教室休校（4/25～5/16）
- 5月 総会（コロナ感染拡大のため文書審議）
日本語教室を再開（鴨島5/23から、山川6/6から）
Dexterさんと英語で交流会（5/22）
- 6月 *書道ワークショップはコロナ禍のため中止
- 7月 日本語スピーチコンテスト（7/11）4名発表
徳島県日本語弁論大会に日本語教室受講生2名出場
- 8月 *阿波踊り、ブドウ狩りはコロナ禍のため中止
- 9月 Zoomによる日本語教室を開講（8/29～9/12）
- 10月 日本語教室で浴衣・着物着付け体験会（10/10）
- 11月 バスツアー（四国水族館、瀬戸大橋記念公園、金刀比羅宮）（11/21）
- 12月 新ALT歓迎会（12/19）
国際理解講座「香川に住むアメリカ人」
講師：ハンスさん（12/26）
日本語教室クリスマス会（12/26）

[2022年]

- 1月 *もちつき大会はコロナ禍のため中止
日本語ボランティア養成講座指導体験授業 中止
- 2月 地域国際交流（鴨島第一中学校1年生）「グローバル化とコミュニケーション」講師：新居博さん（2/1）
国際理解講座「外資企業勤務で経験したアメリカの日常生活とグローバル企業のマネジメント」
講師：新居博さん（2/26）
- 3月 機関誌「国際交流よしのがわ」第18号発行
- ◎定例理事会 毎月末に計12回開催
- ◎日本語教室（毎週日曜日、鴨島：午後、山川：午前）



◆ 編集後記 ◆

2021年度もコロナ禍で、総会、阿波踊りなど様々な行事が中止になりましたが、感染に配慮して日本語教室やバスツアー、国際理解講座などを実施することができました。2022年度もwithコロナで知恵を絞って、市民の皆様とともに国際交流活動を行いたいと思います。（瀬尾規子）